

ふれあいトーク記録書（要約） （ 商工会女性部との意見交換会 ）

開催日時： 令和7年10月27日（月）午前10時～午前11時30分

場 所： 岩倉市商工会館

参加人数： 商工会女性部：8人

総務産業建設常任委員会委員：鬼頭、塚崎、梅村、日比野、伊藤、関戸、榎谷、オブザーバー：水野

- 次 第： 1. 開会あいさつ 総務産業建設常任委員会委員長 鬼頭 博和
 2. 地域のお店・商工業・農業の今について
 3. 女性の働き方や人のつながりについて
 4. フリートーク
 5. 閉会あいさつ 総務産業建設常任委員会副委員長 塚崎 海緒

記 録： 塚崎

項目	参加者の意見・質問	議会の応答
地域商工業の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・個人商店の減少要因と市の支援は。 (一方通行化・車社会・駐車場不足・後継者不在・大型店の影響やネットショッピングの需要拡大) 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッシュレス還元や商品券、商工会サポートセンター設置などを実施。令和7年度は若者向けプレミアムデジタルチケット施策を予定。
	<ul style="list-style-type: none"> ・施策の効果や改善点は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の購買喚起あり。運用上の課題は継続して改善する。
道路・都市計画・駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・駅東の道路拡幅の遅延理由と完成像は。双方向通行になるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県補助金を活用。資材高騰や用地買収難航で遅延。令和8年の完成目標。駅前周辺は広幅員の幹線だが、五条川に向

		<p>かつて幅員が狭くなる予定。双方向通行を想定している。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・道路拡幅だけでは通過交通が増える。駐車場や収益化の検討は。 ・市役所駐車場の有料化など、市の土地を収益化できないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共駐車場は目的外利用制約がある。
	<ul style="list-style-type: none"> ・東町の田んぼ宅地化は水害リスク。農地重視の土地利用を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画マスタープラン中間見直しでは、住居系拡大検討ゾーンとなっている。農業重視の声は所管課に共有し検討課題とする。
	<ul style="list-style-type: none"> ・応募が来ないことや、途中での退職がある。 ・サービス低下や営業時間短縮するなどの影響が出ている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会連携の研修や広報、県補助金（がんばる中小企業等応援補助金）活用を案内。雇用環境改善・定着策は継続して検討する。
人材不足と働き方の多様化	<ul style="list-style-type: none"> ・女性正社員の応募が増加している。子育て後の女性の活躍意欲が高く、残業・現場対応可の人材も。 ・介護期には個別配慮が必要である。（答） 	<ul style="list-style-type: none"> ・フレックス等への対応は。 ←（議員から質問）
	<ul style="list-style-type: none"> ・岩倉版スポットワーク・雇用マッチングの提案。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市は研修や制度を後押し、商工会は募集や広報、伴走を担っている。システム構築は関係団体と検討の余地がある。
行政サービスとワンストップ対応	<ul style="list-style-type: none"> ・担当課が分からず、どの課に相談すればいいか困った。介護や福祉の入口はどこなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護や福祉については、地域包括支援センターへ相談すると良い。窓口ワンストップ化は継続して改善中である。事例共

		有により是正したい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報周知が十分でない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発信や受信双方の改善が必要。案内体制や広報手段を見直す。
周知・広報（女性部活動の可視化）	<ul style="list-style-type: none"> ・女性部の活動を市や議会の広報で取り上げてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市広報は紙面制約ありつつ要望共有。議会広報は「市民参加」ページ創設を検討中で、意見交換会と連動して取り上げる方向も検討する。
交通手段（夜間巡回バス・自動運転）	<ul style="list-style-type: none"> ・夜間の移動手段が乏しい。巡回バスの早期実現を。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現行は福祉目的のふれあいタクシー。一般向け巡回バスは未実施。自動運転バスは有望だが1台4,000～5,000万円等のコスト課題。総務委員会で提案を検討中。
最低賃金上昇と経営圧力	<ul style="list-style-type: none"> ・最賃上昇で小規模事業者が厳しい。市議会の対応は。 	<ul style="list-style-type: none"> ・9月議会で国に中小企業・小規模事業所に財政的支援を求める意見書を提出。市独自は財源や制度課題を踏まえ継続して検討する。
現場の実情（抜粋）	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食：人手不足で営業時間短縮やサービスのばらつきが発生している。 ・若年層：地元より名古屋中心部での就労志向が強い。 ・派遣・スポット：高時給化（例：時給3,000円規模）でコスト上昇。 ・デジタル広報：HP・SNS発信で来客増の事例あり。高齢層にも浸透している。 	